

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 436 事業名 雇用対策等事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		労働福祉費	
	大事業		労働福祉事業	
事項		雇用対策等事業		

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	5	雇用の安定と労働環境の向上
取組	1	就業機会の拡充と就業支援の充実

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	産業企画課	溝本 功(435-1040)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず	○
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実			
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実			
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実			
その他		その他		その他			

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
市民に対して、適正で安心な労働環境を実現する。	労働相談業務 就職活動や職業生活を送るうえでの悩みなど、労働相談員が労働に関する様々な相談に応じ、解決に向けてサポートする。 各種雇用促進団体等への負担金事務。 雇用の拡大や福祉向上を目指す団体に事業経費の一部を負担する。				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	・労働相談業務 ・各種雇用促進団体への負担金事務（全国シルバー人材センター協会負担金・女性職業財団負担金・全国中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金・和歌山県シルバー人材センター連合会負担金・企業情報誌発刊負担金）				
	・労働相談業務 ・各種雇用促進団体への負担金事務（全国シルバー人材センター協会負担金・女性職業財団負担金・全国中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金・和歌山県シルバー人材センター連合会負担金・企業情報誌発刊負担金）				
	・労働相談業務 ・各種雇用促進団体への負担金事務（全国シルバー人材センター協会負担金・全国中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金・和歌山県シルバー人材センター連合会負担金・企業情報誌発刊負担金）				
	・労働相談業務 ・各種雇用促進団体への負担金事務（全国シルバー人材センター協会負担金・全国中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金・和歌山県シルバー人材センター連合会負担金・企業情報誌発刊負担金）				
	・労働相談業務 ・各種雇用促進団体への負担金事務（全国シルバー人材センター協会負担金・全国中小企業勤労者福祉サービスセンター負担金・和歌山県シルバー人材センター連合会負担金・企業情報誌発刊負担金）				

2 事業コスト

事業費 千円	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費		2,104	2,674	3,016	2,860	3,328	3,319	3,333	3,333	3,333
	伸び率 (%)		-	-	43.3%	10.3%	0.2%	0.0%			
	人件費	常勤職員	7,715	1,710	1,710	1,663	1,663	2,826	2,826	2,826	2,826
		非常勤職員	626	1,367	1,367	2,763	2,763	3,135	3,135	3,135	3,135
	小計		8,341	3,077	3,077	4,426	4,426	5,961	5,961	5,961	5,961
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他											
一般財源(税等)		2,104	2,674	3,016	2,860	3,328	3,319	3,333	3,333	3,333	
所要人数	常勤職員	1.01	0.22	0.22	0.22	0.22	0.37	0.37	0.37	0.37	
	非常勤職員	0.43	0.67	0.67	1.16	1.16	1.34	1.34	1.34	1.34	

3 目標及び実績

指標名及び達成状況						平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	広報活動数	年度目標値				3	7	7	7	7	
		実績値				3	6	6			
	単位	回	全体目標値		7	全体目標達成度		85.7%	100.0%	85.7%	85.7%
			年度別達成度								
成果指標	労働相談件数	年度目標値				100	100	200	350	350	
		実績値				92	155	315			
	単位	件	全体目標値		350	全体目標達成度		90.0%	92.0%	155.0%	157.5%
			年度別達成度								

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	景気が低迷する中、職場でのトラブルや問題は、今後ますます増加すると見込まれます。また。専門機関である労働局やハローワークから取り次ぐケースもあることから、市民にとって身近な場所で、じっくり悩みや不安な気持ちを相談できる場を提供する本事業の役割は大きいものと考えます。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が 「B」評価の場合のみ	